



県行政と県議会が互いに切磋琢磨

さらなる県政の発展と充実!

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年度（令和6年）の予算は、当初、大規模広域防災拠点の予定地であった五條市の県有地に、巨大な太陽光発電施設（メガソーラー）等を整備する事業や、現在、老朽化が著しく進んでいる県消防学校を旧県立高田東高校へ移転する事業、2031年に開催予定の国民スポーツ大会・全国障がい者スポーツ大会に向けた、橿原公苑リニューアル整備事業については、見直しを図るなどの修正案を、議会から提出するとともに本会議において可決成立いたしました。当初予算の修正案が可決成立したのは、私が県議員になってから初めての出来事となりました。ご承知のように地方自治体では、首長と議会議員とともに住民が直接選挙で選ぶ、という制度である“二元代表制”を採用しています。二元代表制の特徴は、首長、議会がともに住民を代

表するところにあります。ともに住民を代表する首長と議会が相互の抑制と均衡によってある種の緊張関係を保ちながら、議会が首長と対等の機関として、その地方自治体の運営の基本的な方針を決定（議決）し、その執行を監視するとともに積極的な政策提案を通して政策形成の舞台となることこそ、二元代表制の本来の在り方であるといえます。

従って、奈良県議会では減多になかった予算の修正案が可決成立したことは、二元代表制の観点で申せば、特に珍しいことではないと言えます。引き続き、“是々非々”の立場で責任と使命を果たしてまいります。

さて、2月25日開会の「定例県議会」は、総額5千636億5千700万円の令和7年度当初予算案及び総額127億8千1百万円、総額278億7百万円の補正予算案を始め、条例案、契約・計画案等の審議・審査を行い、3月25日に閉会予定となっ

ています。従って、今号が発行される頃は、既に全ての議案の採決が終わり、閉会していますので結果につきましては、「県議会ホームページ」をご覧ください。

なお、新年度予算のうち、冒頭に報告しました昨年度（令和6年）予算の修正案である“防災関連事業”については、議会の提言・提案どおり、五條市の県有地は「南部中核拠点」として位置付けられることになり、県消防学校については、五條市の県有地「南部中核拠点」に移転、再整備されることになりました。

また、昨年11月には、国民スポーツ大会に向け整備を計画していた“新アリーナ”について、県立医科大学附属病院前に新設される近鉄橿原線の新駅西側に候補地を変更する方針が示されています。

これからも、県行政と県議会が互いに切磋琢磨しながら、“さらなる県政の発展と充実”を目指して邁進してまいります。

ラッピングトラック

奈良県と公益社団法人奈良県トラック協会は、奈良県の観光、農産物、地域産業などを広く全国にPRするため、営業用輸送トラックにラッピングを施す事業に取り組んでおり、今般、12回目となる大型トラックへのラッピングが完成し、2月27日に県庁正面玄関前広場にて出発式が行われました。みなさんも、どこかで見かけるかもしれませんね。



▲「日本」始まりの地 飛鳥・藤原号



▲四季に染まる奈良・奥大和へ号



トラックの左右側面のパネル、後ろのドアだけでなく、東京などの高層ビルからも見ることができるように、天井にもラッピングを施されています。



奈良県オープンファクトリー2025

WEB検索

奈良県オープンファクトリーマップ

オープンファクトリーを実施している県内企業を紹介するWebマップが作成されました。マップに掲載されている企業では、伝統工芸から最先端の製造業まで、さまざまな現場の職人や作り手の技術や想いを間近に感じることができます。マップは今後もさらに充実される予定です。ぜひ、マップを利用して奈良ならではのモノづくりの世界に飛び込んでみてください!

【マップの特徴】

- ・現在の掲載件数は41件。
- ・現在地からのルート検索。
- ・多言語(11言語)に対応。
- ・エリアや業種、体験別に絞り込み。
- ・マイマップ作成。



ふじの良次 『第8回県政報告会』のお知らせ

記

日時
開会

2025年4月13日（日）
午前10時

（受付 午前9時30分より）

場所

大和郡山市南部公民館

大和郡山市筒井町600-4

☎ 0743-59-1316

ふじの良次は、県政の課題として掲げている雇用の安定と創出や地域格差の問題、さらには、医療・教育の充実、町おこしの推進、地域経済の活性化等に向け、全力で取り組むとともに、地域の様々な活動も精力的にこなしています。

この度、そんな変わらぬ志と情熱をもって活動を続ける、ふじの良次の「第8回県政報告会」を開催する運びとなりました。つきましては、右記の通りおこないますので、何卒ご臨席賜りますようお願い申し上げます。



※ 近鉄筒井駅から徒歩5分です。

※ 駐車場に限りがありますので、公共交通機関でのご来館をお願いいたします。

ふじの良次ホームページ

<https://www.y-fujino.jp/>



【代表・一般質問】や【委員会質問】などの議会報告や活動報告を定期的に更新しています。また、ご意見をメールにて受付いたしております。

【お問い合わせ】 ふじの良次事務所 ☎ 0743-59-5155

技能労務職員のあり方について

【問】奈良公園事務所の職員が担う業務が多岐にわたっている現状を踏まえると、直営の維持や正規職員での人員補充が必要であると考え。また、技能労務職の安定した採用は、技術力の維持や地域社会の多様なニーズへの対応及び公共の責任を果たすためにも重要なことである。技能労務職員の増員も含めた職員のあり方について、どのように考えているのか知事の所見を伺いたい。

【知事】奈良公園において、従来、技能労務職員が担ってきた公園内の駐車場管理業務を、令和元年度より外部委託している。引き続き、行政サービスの質の確保や、安定的な人材の確保、各職場の実態、技能労務職員のモチベーションの維持などにも配慮しつつ、各職場が社会情勢に沿った持続可能な業務体制となるよう、職員の採用等を含めて、都度、判断していきたい。

【更問】民間委託ではできない箇所・場所、役割があると思う。技能労務職員の役割、採用について、もう一度知事の考えを伺いたい。

【知事】各職場でどのようなスキルや人材が求められているのかに応じて、民間委託か、会計年度任用職員あるいは技能労務職員を雇用するのかを、適宜、適切に判断していく。



奈良公園周辺の オーバーツーリズム対策について

【問1】多くの観光客によるオーバーツーリズムに備え、公共交通の充実やパーク&ライドの周知及び利用促進の強化に対し、県はどのように取り組んでいくのか。

【知事】「奈良公園ぐるっとバス」として運行する予定。また、春と秋の観光シーズンに、「国道24号高架下駐車場」や「奈良市役所駐車場」において、無料のパーク&ライド駐車場を開設。

令和6年の10、11月には、利用者の多い高速道路サービスエリアのデジタルサイネージで新たに広報を実施し、さらに、春の観光シーズンに向けて、4、5月にはインターネット広告の活用も検討。また、今年のゴールデンウィーク期間中には、奈良公園へのアクセス性に優れたシャトルバスの運行や、パーク&ライドを利用される方へのバスチケットの無料配布も予定。

今後も、オーバーツーリズムの備えとして、観光事業者等と連携しながら、取組を強化する。



【問2】観光客の玄関口となる近鉄奈良駅周辺や、奈良公園周辺において、歩行者の安全確保のための歩道の拡幅やバリアフリー化など、公共交通の利用環境に向けた整備が必要と考えるが、知事の所見を伺いたい。

【知事】近鉄奈良駅の駅前広場周辺のみならず、奈良公園を含めた広いエリアで、魅力的で歩きやすい空間づくりに向けて検討を進めているところ。

奈良公園周辺をはじめとする観光地において、交通渋滞や歩行者の混雑、騒音、ごみのポイ捨てなど、様々な課題があることは認識している。とりわけ、奈良公園周辺の歩行空間確保については、公共交通事業者や地元の方々などと議論を深め、同公園周辺における公共交通の利用環境の向上に努めてまいりたい。



大河ドラマ2026を契機とした 誘客促進について

【問】大河ドラマを契機とした誘客促進事業に取り組まれるとのことだが、舞台となる大和郡山市はもとより、どのように関連地域と連携して取組を進めるのか伺いたい。

【観光局長】大和郡山市とこれらのゆかりの地の魅力をホームページやSNS、メディア等で積極的に全国に発信したいと考えている。加えて、これらの地域への周遊を促進するコンテンツづくりに市町村と連携して取り組み、県全域への周遊を促し、宿泊してゆっくり滞在いただけるよう進めていきたい。

また、この機会に直接的な関連がない地域にも足を伸ばしてもらえよう、地域の魅力の発信に取り組む。加えて、大河ドラマの舞台となる愛知県や滋賀県とも連携し、大河ドラマが放送される1年間を通して周遊促進を図る企画を検討しているところ。

大和郡山市、その他市町村や関係機関等とも連携を密にし、早め早めの積極的な誘客プロモーションを実施し、周遊や宿泊に繋がるようしっかり取り組んでまいりたい。

2026年大河ドラマ 豊臣兄弟！



都市計画道路「城廻り線」の 早期開通について

【問】都市計画道路「城廻り線」の整備状況とともに、完成時期の目途について伺いたい。

【県土マネジメント部長】現在、近鉄線西側においては、支障となる地下埋設管の移設工事を道路占用事業者が行っており、今年度中に完了予定。令和7年度より、現道を南側へ切り替える工事を実施、本線部のボックスカルバート設置に必要な鋼矢板打設工事を進める予定。

近鉄線東側では、令和7年度は文化財調査に加え、水路工事、北郡山交差点の歩道整備や右折レーンを設置する交差点改良工事に着手する予定。

限られた用地内で工事を行う必要があり、時間を要することに加え、これから本格化する工事の予算確保、とりわけ国の交付金の確保も課題であることから、現時点では供用開始の時期を明言できる段階ではない。ご理解をお願いいたします。



教員の確保について

【問1】正規教員の拡充による安定的な教員確保に加え、常勤の補充講師を迅速に任用するための取組が必要であると考え、現状と今後の方向性を伺いたい。

【教育長】令和12年度に、正規教員採用人数を全国平均並に増やす。正規教員の割合が高まることで、安定的な教員の確保につながるものと考えている。

常勤講師の確保に向け、市町村教育委員会と連携し、退職教員への電話連絡やハローワークへの登録等を進めてきた。また、長らく現場から離れている方を対象としたペーパーティーチャー説明会を、令和5年2月から継続的に行っており、さらに、令和5年10月からLINEを用いた講師募集や採用試験の情報を発信、令和7年1月からはInstagramを用いた教職の魅力伝えるための動画配信を開始。

安定的な教員確保に向けて「教員採用にかかる戦略的広報展開事業」を令和7年度予算案として上程。正規教員の拡充による安定的な教員確保に加え、これらの取組により常勤講師の確保に努めていく。



【問2】教職員定数については、義務標準法に準ずると1クラスの減少で2人定数が減少する可能性があるが、県による加配などの緩和策について伺いたい。

【教育長】公立小・中学校及び義務教育学校の教職員定数については、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」、いわゆる義務標準法をもとに、学級編制基準に基づく学級数に応じて決定している。

義務標準法に基づく、議員ご指摘のとおり、学級数が1減ることで、教員定数が2減る場合があり、法を超えての定数配置は難しいと言わざるを得ないが、学校の校務を分担する上で、教員定数が減る影響は小さくないため、義務標準法の改善については、全国都道府県教育長協議会等を通じて、国へ要望していきたいと考えている。あわせて、各学校の学級数の変化や教育課題の把握に努め、学級数に応じた教員の配置に加え、目的に応じた国の加配定数を活用することで、適切な定数配置となるよう努める。



【要 望】 奈良県中央卸売市場再整備について

今回の新年度予算にも事業費が計上されており、今後、事業が本格的に進められることに期待が膨らむところです。とはいえ、事業者に影響が及ぶ運営費・維持管理費などの問題や、市場を取り巻くアクセスの整備など、取り組むべき課題も山積しています。

県民の食卓に安心・安全に生鮮食料品を届けるといった流通機能の役割を果たす市場の再整備は、県の重要施策であると考えます。どうか県民の台所としての役割を果たす奈良県中央卸売市場の再整備に対して、引き続きのご尽力をお願い申し上げます。



▲ イメージ図

